



**Hewlett Packard**  
Enterprise

## HPE iLO のライセンスキーのインストール手順

### 摘要

このガイドでは、HPE iLO ライセンスキーのインストールに関する情報を提供します。

## ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

## 商標

Intel<sup>®</sup>、インテル、Itanium<sup>®</sup>、Optane<sup>™</sup>、Pentium<sup>®</sup>、Xeon<sup>®</sup>、Intel Inside<sup>®</sup>および Intel Inside ロゴは、インテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft<sup>®</sup>および Windows<sup>®</sup>は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Adobe<sup>®</sup>および Acrobat<sup>®</sup>は、米国 Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Java<sup>®</sup>および Oracle<sup>®</sup>は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

UNIX<sup>®</sup>は、The Open Group の登録商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。



# 目次

<b>HPE iLO ライセンスキーのインストール</b> .....	<b>4</b>
iLO ライセンスのインストール方法 .....	4
iLO Web インターフェイスを使用した iLO ライセンスキーのインストール.....	4
RESTful インターフェイスツールを使用した iLO ライセンスキーのインストール.....	5
iLO 連携を使用した iLO ライセンスキーのインストール.....	5
iLO CLI を使用した iLO ライセンスキーのインストール.....	6
XML スクリプティングを使用した iLO ライセンスキーのインストール .....	7
HPQLOCFG を使用した 1 つのライセンスのインストール .....	8
HPONCFG を使用した単一ライセンスのインストール.....	9
ライセンスのインストールの確認 .....	10
<b>サポートと他のリソース</b> .....	<b>11</b>
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	11
アップデートへのアクセス.....	11
リモートサポート（HPE 通報サービス） .....	12
保証情報.....	12
規定に関する情報.....	12
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	13



# HPE iLO ライセンスキーのインストール

## iLO ライセンスのインストール方法

iLO ライセンスは、以下のいずれかの方法でインストールできます。

- ・ [iLO Web インターフェイス](#)
- ・ [RESTful インターフェイスツール](#)
- ・ [iLO 連携](#)
- ・ [iLO CLI](#)
- ・ [XML スクリプティング](#)

## iLO Web インターフェイスを使用した iLO ライセンスキーのインストール

### 前提条件

- ・ iLO 設定の構成権限を持つ iLO ユーザーアカウントを使用している。
- ・ iLO ライセンスが、そのライセンスをインストールするサーバーでサポートされている。
- ・ iLO ライセンスアクティベーションキーを取得している。

### 手順

1. ライセンスアクティベーションキーを見つけます。
2. iLO にログインします。
3. ナビゲーションツリーで**管理**をクリックし、**ライセンス**タブをクリックします。
4. **アクティブ化**キーボックスにライセンスキーを入力します。

アクティベーションキーボックスで、セグメント間でカーソルを移動するには、**Tab** キーを押す、またはボックスのセグメントの内側をクリックします。アクティベーションキーボックスのセグメントにデータを入力すると、カーソルは自動的に次に進みます。

すでにキーがインストールされているサーバー上でライセンスキーをインストールした場合、現在のキーは新しいキーに置き換えられます。

ライセンスキーをインストールすると、iLO に最後の 5 桁のみが表示されます。Hewlett Packard Enterprise では、後で必要になる場合に備えて、ライセンスキー情報を記録して保存することをお勧めします。

5. **インストール**をクリックします。  
エンドユーザー使用許諾契約を読み、合意したことを確認するプロンプトが iLO で表示されます。
6. **同意する**をクリックします。  
これで、ライセンスキーは有効になります。

# RESTful インターフェイスツールを使用した iLO ライセンスキーのインストール

## 前提条件

- ・ iLO 設定の構成権限を持つ iLO ユーザーアカウントを使用している。
- ・ iLO ライセンスが、そのライセンスをインストールするサーバーでサポートされている。
- ・ iLO ライセンスアクティベーションキーを取得している。

## 手順

1. ライセンスアクティベーションキーを見つけます。
2. RESTful インターフェイスツール (Windows MSI パッケージ、または Linux RPM パッケージ) を <https://hewlettpackard.github.io/python-redfish-utility/> からダウンロードします。
3. RESTful インターフェイスツールをインストールします。
4. RESTful インターフェイスツールをインストールしたフォルダーを見つけます。
5. 次のサンプルに基づいて License.json ファイルを作成し、RESTful インターフェイスツールと同じフォルダーに保存します。

ライセンス JSON ファイルの例 :

```
{
  "body": {
    "LicenseKey": "XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX"
  },
  "path": "/rest/v1/managers/1/LicenseService"
}
```

6. License.json ファイル内で、デフォルトの LicenseKey の値を有効なキーに置き換えて、変更を保存します。
7. コマンドプロンプトを開き、ユーティリティと JSON ファイルが格納されているフォルダーに移動します。
8. 以下のようなコマンドを実行します。

```
ilorest.exe rawpost license.json --url ホスト名または IP アドレス -u ユーザー名  
-p password
```

例 :

```
ilorest.exe rawpost license.json --url mydl360server.mydomain.com -u  
adminaccount  
-p myadminpass123
```

コマンドが正常に実行されると、次のメッセージが表示されます。The operation completed successfully.

## iLO 連携を使用した iLO ライセンスキーのインストール

グループライセンスページには、選択した iLO 連携グループのメンバーのライセンスステータスが表示されません。以下の手順を使用して、キーを入力して、ライセンス済みの iLO 機能を有効にします。

## 前提条件

- ・ iLO 設定の構成権限を持つ iLO ユーザーアカウントを使用している。
- ・ iLO 連携グループの各メンバーが、iLO 設定の構成権限をグループに認めている。
- ・ iLO ライセンスが、選択したサーバーでサポートされている。
- ・ 選択したサーバーの数に対して認証されている iLO ライセンスアクティベーションキーを取得している。
- ・ iLO の構成とネットワーク構成が、iLO 連携機能を使用するための前提条件を満たしている。

## 手順

1. ライセンスアクティベーションキーを見つけます。
2. iLO にログインします。
3. ナビゲーションツリーで **iLO 連携** をクリックして、**グループライセンス** タブをクリックします。
4. (オプション) 影響を受けたシステムのリストをフィルタリングするには、ライセンスのタイプまたはステータスリンクをクリックします。  
  
以下に例を示します。すでにキーがインストールされているサーバー上でライセンスキーをインストールした場合、現在のキーは新しいキーに置き換えられます。既存のライセンスを置き換えたくない場合は、**ステータス** セクションの **Unlicensed** をクリックして、ライセンスが適用されていないサーバーにのみライセンスをインストールします。
5. **アクティブ化** キーボックスにライセンスキーを入力します。  
  
アクティベーションキーボックスで、セグメント間でカーソルを移動するには、**Tab** キーを押す、またはボックスのセグメントの内側をクリックします。アクティベーションキーボックスのセグメントにデータを入力すると、カーソルは自動的に次に進みます。  
  
ライセンスキーをインストールすると、iLO に最後の 5 桁のみが表示されます。Hewlett Packard Enterprise では、後で必要になる場合に備えて、ライセンスキー情報を記録して保存することをお勧めします。
6. **インストール** をクリックします。  
  
エンドユーザー使用許諾契約を読み、合意したことを確認するプロンプトが iLO で表示されます。  
  
エンドユーザー使用許諾契約の詳細は、ライセンスパックオプションキットに記載されています。
7. **同意する** をクリックします。  
  
ライセンスがインストールされた後、**ライセンス情報** セクションが更新され、選択したグループ用の新しいライセンスの詳細を表示します。

# iLO CLI を使用した iLO ライセンスキーのインストール

## 前提条件

- ・ iLO 設定の構成権限を持つ iLO ユーザーアカウントを使用している。
- ・ iLO ライセンスが、そのライセンスをインストールするサーバーでサポートされている。
- ・ iLO ライセンスアクティベーションキーを取得している。

## 手順

1. ライセンスアクティベーションキーを見つけます。
2. PuTTY などの SSH クライアントアプリケーションで接続を開きます。
3. SSH ポートは **22**、**接続タイプ**は **SSH** のままにします。
4. ログインプロンプトで、ユーザー名とパスワードを入力します。  
iLO->プロンプトが表示されます。
5. ライセンスページに移動するには、`cd map1/oemHPE_license1` と入力し、次に `show` と入力します。  
ライセンスタイプ (`oemHPE_name1`)、およびライセンスキーなどのライセンス情報が表示されます。ライセンスキーは、セキュリティ上の理由から部分的に編集されています。
6. ライセンスを追加するには、次のコマンドを入力して、`oemHPE_key1` の値を 5X5 ライセンスキーに置き換えます。

```
oemHPE_licenseinstall ライセンスキー
```

ライセンスキーを入力するための有効なフォーマットは次のとおりです。

- `oemHPE_licenseinstall "AAAAA-BBBBBB-CCCCC-DDDDD-EEEE"`
- `oemHPE_licenseinstall AAAAA-BBBBBB-CCCCC-DDDDD-EEEE`
- `oemHPE_licenseinstall AAAAABBBBBCCCCDDDDDEEEEE`
- `oemHPE_licenseinstall "AAAAABBBBBCCCCDDDDDEEEEE"`

次の出力が表示されます。

```
status=0  
status_tag=COMMAND COMPLETED  
タイムスタンプ  
New license key installed.
```

## XML スクリプティングを使用した iLO ライセンスキーのインストール

XML コマンドと高度なスクリプティングインターフェイスを使用してライセンスをインストールすることができます。この方法は、大規模なサーバー配備の一環としてライセンスキーを展開する場合に便利です。スクリプトは、RIBCL と呼ぶスクリプティング言語用に記述された XML ファイルです。以下の方法を使用できます。

- HPQLOCFG - XML 設定スクリプトと制御スクリプトをネットワーク経由で iLO に送信する Windows コマンドラインユーティリティです。
- HPONCFG - ホスト上で実行され、RIBCL スクリプトをローカルの iLO に転送する、ローカルでのオンラインのスクリプトによるセットアップユーティリティです。このユーティリティには iLO チャネルインターフェイスドライバーが必要です。

このユーティリティを使用するときに、サーバーの IP アドレスまたは FQDN を入力する必要はありません。iLO が本番環境より高いセキュリティ状態に設定されている場合は、ユーザーアカウントの資格情報が必要です。

- ・ LOCFG—ネットワーク経由で RIBCL スクリプトを iLO に送信するために使用できる Perl サンプルを含むカスタム iLO スクリプティング環境です。このオプションについて詳しくは、HPE iLO 5 スクリプティング/コマンドラインガイドを参照してください。

## HPQLOCFG を使用した 1 つのライセンスのインストール

### 前提条件

- ・ iLO 設定の構成権限を持つ iLO ユーザーアカウントを使用している。
- ・ iLO ライセンスが、そのライセンスをインストールするサーバーでサポートされている。
- ・ iLO ライセンスアクティベーションキーを取得している。

### 手順

1. ライセンスアクティベーションキーを見つけます。

2. HPQLOCFG をダウンロードしてインストールします。

このソフトウェアは Web サイト (<http://www.hpe.com/support/iLO5>) からダウンロードできます。

3. HPQLOCFG が格納されているフォルダーを見つけます。

4. `License.xml` スクリプトファイルを、HPQLOCFG と同じフォルダー内にコピーします。

サンプルスクリプトファイルは、<https://www.hpe.com/support/ilo5> から入手することも、次のサンプルスクリプトに基づいてファイルを作成することもできます。

```
<RIBCL VERSION="2.0">
  <LOGIN PASSWORD="password" USER_LOGIN="adminname">

    <RIB_INFO MODE="write">
      <LICENSE>
        <ACTIVATE KEY="11223-34455-66778-89900-AABBC"/>
      </LICENSE>
    </RIB_INFO>
  </LOGIN>
</RIBCL>
```

5. コマンドプロンプトを開き、HPQLOCFG と `License.xml` ファイルが格納されているフォルダーに移動します。

6. `License.xml` ファイルを編集します。

- a. `License.xml` ファイルを開きます。

- b. ライセンスをインストールするシステムの iLO ユーザーアカウント資格情報を入力します。

例 :

```
<LOGIN USER_LOGIN="adminuser" PASSWORD="adminpassword">
```

- c. 購入したライセンスキーを入力します。



例：

```
<ACTIVATE KEY="ABCDE-FGHIJ-KLMNO-PQRST-UVWXY"/>
```

d. License.xml ファイルを保存して閉じます。

7. 次のコマンドを使用して、ライセンスをインストールします。

```
hpqlocfg.exe -s IPAddress/FQDN -f xmlFileName.xml
```

例：

```
hpqlocfg.exe -s mydl360server.mydomain.com -f License.xml
```

## HPONCFG を使用した単一ライセンスのインストール

### 前提条件

- ・ iLO 設定の構成権限を持つ iLO ユーザーアカウントを使用している。
- ・ iLO ライセンスが、そのライセンスをインストールするサーバーでサポートされている。
- ・ iLO ライセンスアクティベーションキーを取得している。

### 手順

1. ライセンスアクティベーションキーを見つけます。

2. HPONCFG をダウンロードしてインストールします。

このソフトウェアは Web サイト (<http://www.hpe.com/support/iLO5>) からダウンロードできます。

3. HPONCFG が格納されているフォルダーを見つけます。

4. License.xml スクリプトファイルを、HPONCFG と同じフォルダー内にコピーします。

サンプルスクリプトファイルは、<https://www.hpe.com/support/ilo5> から入手することも、次のサンプルスクリプトに基づいてファイルを作成することもできます。

```
<RIBCL VERSION="2.0">  
  <LOGIN PASSWORD="password" USER_LOGIN="adminname">  
  
    <RIB_INFO MODE="write">  
      <LICENSE>  
        <ACTIVATE KEY="11223-34455-66778-89900-AABBC"/>  
      </LICENSE>  
    </RIB_INFO>  
  </LOGIN>  
</RIBCL>
```

5. コマンドプロンプトを開き、HPONCFG と License.xml ファイルが格納されているフォルダーに移動します。

6. License.xml ファイルを編集します。

a. License.xml ファイルを開きます。

b. (オプション) ライセンスをインストールするシステムの iLO ユーザーアカウント資格情報を入力します。

例 :

```
<LOGIN USER_LOGIN="adminuser" PASSWORD="adminpassword">
```

iLO のセキュリティ設定が製品よりも高い状態で HPONCFG を使用する場合、ユーザー名とパスワードが必要です。

- c. 購入したライセンスキーを入力します。

例 :

```
<ACTIVATE KEY="ABCDE-FGHIJ-KLMNO-PQRST-UVWXY"/>
```

- d. License.xml ファイルを保存して閉じます。

7. 次のコマンドを使用して、ライセンスをインストールします。

```
hponcfg.exe -f xmlFileName.xml
```

---

❗ **重要:** HPONCFG を使用する Windows システムでは、`-f` の代わりに `/f` を入力します。詳しくは、HPE iLO 5 スクリプティング/コマンドラインガイドを参照してください。

---

例 :

Linux :

```
hponcfg.exe -f License.xml
```

Windows :

```
hponcfg.exe /f License.xml
```

## ライセンスのインストールの確認

ライセンスをインストールした後、インストールが成功したことを確認します。

手順

- インストールエラーメッセージが表示されません。
- インストールされているライセンスに関する情報が表示されます。

手順については、HPE iLO ライセンスガイドを参照してください。

# サポートと他のリソース

## Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

### ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

## アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

### Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<https://www.hpe.com/support/downloads>

### My HPE Software Center

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- ・ お客様の資格を表示、アップデート、または契約や保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページに移動します。



- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

## リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE データセンターケアサービス

<http://www.hpe.com/services/datacentercare>

HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンストサービス：サポートされている製品のリスト

<https://www.hpe.com/jp/ja/services/proactive-care-central.html>

## 保証情報

ご使用の製品の保証情報を確認するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<https://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<https://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<https://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<https://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

## 規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

## 規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

## ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 ([docsfeedback@hpe.com](mailto:docsfeedback@hpe.com)) へお寄せください。このメールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

